

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">ヨーロッパ文化と社会</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部コミ3回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">村尾 敏彦</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">映画にうつった、英国・アイルランド地域の歴史・文化・社会</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>映画の中には、人々の歴史的体験や文化・社会が、映し出されている。それを活用して、ヨーロッパ、とりわけ、英国・アイルランド地域についての理解を深めたい。</p>		
<p>評価方法</p> <p>授業中に課題をだす。</p>		
<p>テキスト</p> <p>必要に応じてプリントを配布する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『パッション』 古代ローマ文化とキリスト 2. 『ベン・ハー』 古代ローマとキリスト 3. 『ブレイブ・ハート』 イングランドとスコットランド (ケルト文化) 4. 『ジャンヌ・ダルク』 中世の王権とキリスト教 5. 『エリザベス』 エリザベス朝英国社会 カソリックとプロテスタント 6. 『恋におちたシェイクスピア』 エリザベス朝の英国社会と演劇 7. 『ロミオとジュリエット』 エリザベス朝英国の演劇 8. 『ラ・マンチャの男』 スペインの中世と近代の狭間 9. 『クロムウェル』 清教徒革命 王権と議会 10. 『緋文字』 英国からアメリカへの移民 11. 『レヴオルーション』 アメリカ独立戦争 12. 『分別と感受性』 英国社会の中の女性 13. 『ガリバー』 18世紀の社会風刺 14. 『ファー アンド アウェイ』 アイルランドからアメリカへの移民 15. 『マイフェアレディー』 英語の階級性 16. 『オリバー・トウィスト』 英国の階級社会 17. 『テス』 産業社会の英国 18. 『タイタニック』 アイルランドと英国 19. 『ライアの娘』 英国支配下のアイルランド 20. 『ガンジー』 英国植民地からインドの独立 21. 『虹』 英国社会の中の女性 22. 『マイケル・コリンズ』 アイルランド独立運動 23. 『アンジェラの灰』 ふたつのアイルランド 24. 『ダロウェイ夫人』 英国社会の中の女性 25. 『第三の男』 第二次世界大戦 26. 『パール・ハーバー』 第二次世界大戦 27. 『土曜の夜と日曜の朝』 英国の工場労働者 28. 『ビリー・エリオット』 炭鉱の労働争議とバレエ 29. 『ボクサー』 北アイルランド問題 30. 1年を振り返る。 		